

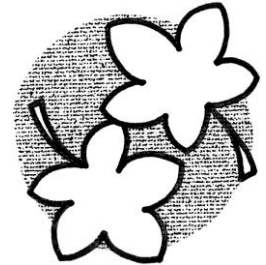
6年1組学級だより

スマイル



R2. 11. 3 No.5

11月に入りました



11月に入り、今年もあと2ヶ月となりました。

臨時休業中の皆さんは、どのように過ごしていますか？元気に過ごしているでしょうか。

突然の臨時休業中、お家の方々にはご協力いただいておりますこと感謝申し上げます。

6月に学校が再開するにあたって、学級で「新型コロナウイルスの三つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」について学習し、みんなで気を付けていこうと話したことを覚えているでしょうか。ここでまた、皆さんで確認しておきたいと思います。

このウィルスの怖いところは、「三つの感染症」という顔をもっている。

第1の感染症は、「病気そのもの」。

第2の感染症は、「不安と恐れ」。

第3の感染症は、「嫌悪・偏見・差別」。

この感染症の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながる。

では、感染を防ぐためにわたしたちにできることは・・・

- ・一人一人が「手洗い」「マスク」「三密を避ける」など、感染防止に努める。
- ・いつもの生活習慣やペースを保つ。心地よい環境を整える。今の状況だからこそできることに取り組む。不確かな情報に振り回されない。
- ・差別的な言動に同調しない。

思い出したでしょうか。

これから学校が再開したら、この三つの顔をもつ感染症の負のスパイラルを断ち切れるように、一人一人がそれぞれの立場に立ってできることに取り組んでいきましょう。特に

第3の感染症「嫌悪・偏見・差別」では、「もし、自分だったら・・・」と考えることで、思いやりのある行動が取れるようにしましょう。どんな時にも、相手の立場にたって考え、行動するということは、大事なことです。何事にも、思いやりの気持ちをもって行動することで、充実した学校生活を送れるようにしていきましょう。



桜梅桃李

NO. 6

発行日 令和2年11月3日

発行責任 板垣 智佳

11月になりました

早いもので、今年も残り2ヶ月。4・5月が臨時休業だったこともあり、時が経つのがより一層早く感じられます。

今回、コロナ感染防止のため、臨時休業が延長となりました。みなさん、元気に過ごしていますか？学校がある日と同じ時間に起きているでしょうか？休みが長くなると生活のリズムが崩れがちですが、学校の時間割と同じように生活できるよう心がけましょう。

今回のことで、感染は誰にでも起こり得るということを実感したことと思います。そこで、「新型コロナウイルスの三つの顔」について、思い出してみましょう。6月11日の一斉登校のときに学習したのを覚えているかな？

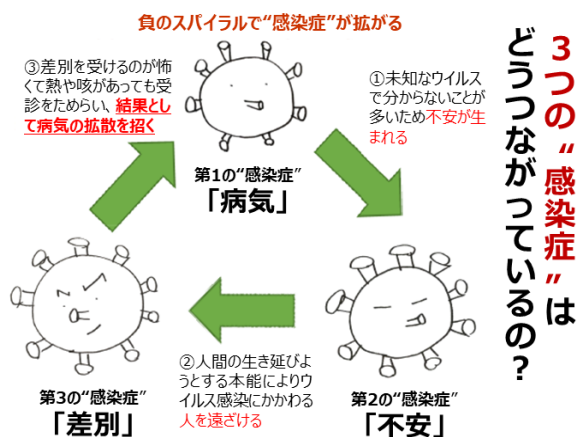
この感染症の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別がさらなる病気の拡散につながることで、この負のスパイラルを断ち切るためにも、一人一人ができることをこれからも続けていきましょう。

- ①手洗い・マスク着用を徹底する。
- ②三密を避け、人との距離を保つ。
- ③生活習慣を整え、体の抵抗力を高める。
- ④不安なことは、家族や先生に相談する。
- ⑤不確かな情報に振り回されない。
- ⑥差別的な言動に同調しない。

特に、第三の感染症「差別」について、授業で真剣に考えていたみんなの表情が思い出されます。授業の終わりには、「感染した人が傷つかないように、絶対に差別はしない」と感想を書いていた人がいました。今、一番つらい思いをしているのは、感染してしまった人やそのご家族でしょう。「もし自分だったら・・・」と考えると、優しいみんなならその方々の気持ちが痛いほど分かることと思います。吉岡小学校の仲間たちが安心して登校できるよう、これからも一人一人が思いやりの心を持って行動していきましょうね。

学校は消毒作業を終え、みなさんが安心して登校できるよう準備しています。みなさんが元気に登校し、いつも通りの生活ができることを楽しみに待っています。

次号からは、2学期からみんなが頑張っている各会社の活動についてお知らせします。どうぞ、お楽しみに！！



(出典：「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」日本赤十字社 より引用)

Do my Best!!

2020.11.3

規則正しい生活を!!

突然の臨時休業になり、いろいろな思いを抱えながらも元気に過ごしていたでしょうか？

今回のことで、どんなに感染予防の対策をしっかりと行っても、いつ、だれが感染しても不思議ではない状況であることが分かりました。手洗い、うがいや三密にならないようにするなど感染症対策を徹底し、確実にやっていくことの大切さを改めて感じました。

そして、今後学校が再開されたときには、感染しないように気を付けることはもちろん、必要以上に不安に思って落ち込んだり、感染してしまった人を差別したりしてしまうことのないようにすることが重要になります。感染してしまった人に対して、自分もその立場になり得ることを忘れずに、その人を親身になって心配する、学校に復帰してきたときには、「大変だったね。治ってよかったね。」とそれまでの大変さに共感し、思いやりのある言葉や態度で接する子供たちであってほしいです。みんなで温かい言葉、気持ちがもてるように学校でも声をかけていきたいと思えます。

新型コロナウイルスには三つの顔があると言われてます。

1つ目は、感染すると風邪症状などを引き起こす「病気」そのものです。防ぐためには、「手洗い・咳エチケット・人混みを避ける」など一人一人が衛生的な行動を心がけましょう。

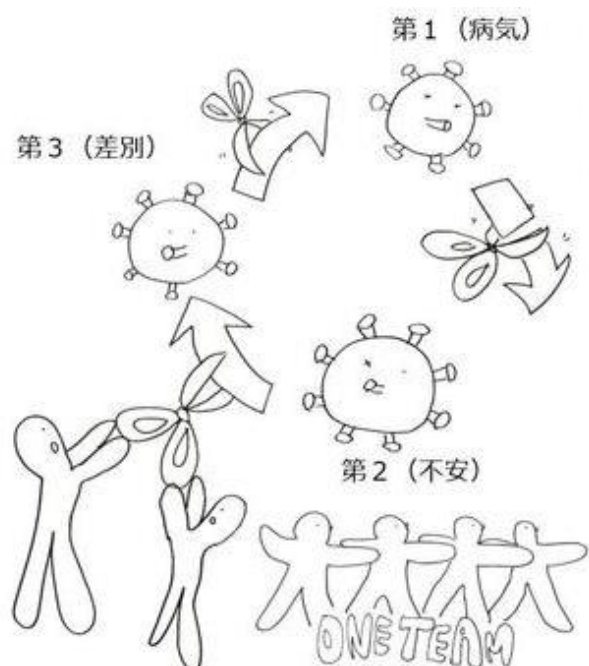
2つ目は、ワクチンや薬もなく、分からないことも多いという「不安と恐れ」です。「気づく力・聴く力・自分を支える力を高める」ことで、自分の安全や健康のために必要なことを見極めて、振り回されないようにしましょう。

3つ目は、ウイルス感染に関わる人や対象を遠ざけたり、差別したりという「嫌悪・偏見・差別」です。みなさんそれぞれの場所で感染拡大を防ぐために頑張っていますので、事態に対応しているすべての方に「ねぎらい・敬意」を払いましょう。

（日本赤十字社より引用）

コロナウイルスとの戦いは、これからも続いていきます。それぞれの立場でできることを行い、みんなが一つになって負のスパイラルと断ち切ることが大切です。6月に学校が再開されたときにみんなで確認したことを改めて思い出してみましょう。

みんなが楽しみにしていた行事を成功させるためにも、体調管理に気を付けて、元気に学校に来るのを楽しみにしています。



（日本赤十字